

宮私幼PTAだより

第93号

発行 者 連 合 会
宮私幼PTA (会長 佐々木 幸士)

編集 委員 会
広報 集 員

事務局
仙台市青葉区国分町三丁目6-12
佐正第二ビル6F
電話 (022)263-7040 番



開いた『花』を実った『果実』へ 変革の一年を皆さまと共に！

宮城県私立幼稚園PTA連合会

会長 佐々木 幸士

春は子供達にとって新たな節目を迎える巣立ち、自我の芽生えの季節。親御様にとりましては、子供達の確かな成長を実感する季節でもありません。

年長児をお持ちの親御様は、卒園する子供の成長の喜びを感じながらも少し寂しい思いもあり、そして、これから小学校に入学する期待と不安の気持ちが交錯していることと思います。また、年中・年少児の親御様は、お子様の言葉や行動に表れる毎日の変化に、目覚ましい日々の成長を実感しながら喜びを感じていることと思います。

今、この時の一瞬、一瞬が親子にとって人生のかけがえのない時間となります。仕事と家庭の両立で忙しい日々をお過ごしかと思われすが、子供と触れ合う時間をどうぞ大切にしていきたいと思えます。

さて、これまで長きにわたり、当会としても国・県をはじめ関係機関へ要望してきた保護者負担軽減のための幼児教育・保育無償化が本年十月から、いよいよスタートすること

になります。私達の長年の活動が実を結びこととなりました。これまでの道のりに、ご支援とご尽力を頂きました多くの皆様改めて敬意を表しますとともに、心から感謝申しあげます。これからは開いた『花』をしっかりと『果実』に育てていく時です。今後の制度運用のあり方を皆さまと共に注視して参りたいと存じます。

現在も当会の保護者皆様から多くの問い合わせを頂いており、今回の会報では、出来るだけ分かりやすい形にしまして資料を掲載致しました。是非、ご一読頂き、ご理解を深めて頂

幼稚園、保育所、認定こども園等の無償化について

- 子育て世帯を応援し、社会保障を全世代型へ抜本的に変えるため、幼児教育の無償化を一気に加速する。幼児教育の無償化は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児教育の重要性や、幼児教育の負担軽減を図る少子化対策の観点などから取り組むもの。
- 「新しい経済政策パッケージ」(2017年12月8日閣議決定)、「経済財政運営と改革の基本方針2018」(2018年6月15日閣議決定)において、以下の方針が示され、消費税率引上げ時の2019年10月1日からの実施を目指すこととされている。
- 具体的な手続き等については、現在検討が行われているところ。

幼稚園、保育所、認定こども園等を利用する子供たち

【対象者・利用料】

- 幼稚園、保育所、認定こども園等を利用する3歳から5歳の子供たちの利用料を無償化。
- ※ 子ども・子育て支援新制度の対象とならない幼稚園の利用料については、同制度における利用者負担額を上限として無償化(上限月額2,57万円)。
- ※ 実費として徴収されている費用(遠通運賃、食料費、行事費など)は、無償化の対象外。
- ※ 幼稚園(4時間程度)については第3歳(3歳になった日)から、保育所については3歳児クラス(3歳になった後の4月以降)から無償化。その他の施設等については、上記取扱いを踏まえて、検討が行われているところ。
- 0歳から2歳児の子供たちの利用料については、住民税非課税世帯を対象として無償化。

【対象施設・サービス】

- 幼稚園、保育所、認定こども園に加え、地域型保育(小規模保育、家庭型保育、居宅訪問型保育、事業所内保育)、企業主導型保育事業(標準的な利用料)も同様に無償化の対象。
- ※ 最優先の課題である待機児童解消の実現に向けては、女性就業率80%に対応できる「子育て安心プラン」を前倒しし、2020年度までに32万人分の受け皿整備を進める。

幼稚園の預かり保育を利用する子供たち

【対象者・利用料】

- 幼稚園の預かり保育を利用する子供たちについては、新たに保育の必要性があると認定を受けた場合には、幼稚園保育料の無償化(上限月額2,57万円)に加え、利用実績に応じて、認可保育所における保育料の全国平均額(月額3.7万円)と幼稚園保育料の無償化の上限額との差額である最大月1.13万円までの範囲で預かり保育の利用料を無償化。
- ※ 認定こども園における子ども・子育て支援新制度の1号認定の子供たちが利用する預かり保育も含む。

認可外保育施設等を利用する子供たち

【対象者・利用料】

- 認可外保育施設等を利用する子供たちについても、保育の必要性があると認定された3歳から5歳の子供たちを対象として、認可保育所における保育料の全国平均額(月額3.7万円)までの利用料を無償化。
- 0歳から2歳児の子供たちについては、住民税非課税世帯の子供たちを対象として、月額4.2万円までの利用料を無償化。

【対象施設・サービス】

- 認可外保育施設等とは、一般的な認可外保育施設、地方自治体独自の認証保育施設、ベビーホテル、ベビーシッター、認可外の事業所内保育等を目指す。このほか、子ども・子育て支援法に基づく一時預かり事業、病児保育事業及びファミリー・サポート・センター事業が対象。
- 無償化の対象となる認可外保育施設は、都道府県等に届出を行い、国が定める認可外保育施設の指導監督基準を満たすことが必要。ただし、経過措置として、指導監督基準を満たしていない場合でも無償化の対象とする5年間の猶予期間を設ける。

いわゆる「障害児通園施設」を利用する子供たち

【対象者・利用料】

- 就学前の障害児の発達支援(いわゆる障害児通園施設)を利用する子供たちについて、利用料を無償化。
- ※ 3歳から5歳が対象(なお、0歳から2歳児の住民税非課税世帯については、既に無償となっている)。
- 幼稚園、保育所、認定こども園といわゆる障害児通園施設の両方を利用する場合は、両方とも無償化の対象。

幼児教育の無償化の具体的なイメージ(例)

3歳~5歳 (保育の必要性の認定事由に該当する子供)	利用	幼稚園、保育所、認定こども園、障害児通園施設	無償 (幼稚園は月2,57万円まで)
	利用	幼稚園の預かり保育	幼稚園保育料の無償化(月2,57万円まで)に加え、月1.13万円(全国平均額との差額)まで無償
3歳~5歳 (上記以外)	利用(複数利用)	認可外保育施設、ベビーシッターなど(一般的に認可外保育施設、自治体の認証保育施設など)	月3.7万円まで無償
	複数利用	幼稚園、保育所、認定こども園 + 障害児通園施設	ともに無償 (幼稚園は月2,57万円まで)
3歳~5歳 (上記以外)	利用	幼稚園、認定こども園、障害児通園施設	無償 (幼稚園は月2,57万円まで)
	複数利用	幼稚園、認定こども園 + 障害児通園施設	ともに無償 (幼稚園は月2,57万円まで)

(注1) 幼稚園の預かり保育や認可外保育施設を利用している場合、無償化の対象となるためには、保育の必要性の認定事由に該当することが必要となる。

(注2) 上記の認可外保育施設及びベビーシッターについては、認可外保育施設の届出を行い、指導監督の基準を満たすに限り(ただし、5年間の経過措置として、指導監督の基準を満たしていない場合でも無償化の対象とする猶予期間を設ける)。

(注3) 地域型保育も対象。また、企業主導型保育事業(標準的な利用料)も対象。

れば幸いに存じます。さて、この度の幼児教育・保育の無償化での保護者負担軽減により、子供達の学ぶ機会が格段に増えていくこととなります。幼児教育・保育のいわば「量の拡大」という点において賽は投げられた状態でありますが、「質の充実と確保」という点は今これまで以上に、今後益々の喫緊の課題となっていくことは言うまでもありません。

宮城県では、幼児期を「学ぶ土台づくり」の時期として捉え、家庭・幼稚園・認定こども園・保育所等のいずれにおいても充実した幼児教育が行われることを目指し、『学ぶ土台づくり』推進計画』として、現在は平成三十年三月に策定された第三期となる推進計画(二〇二〇年までの三年間)に基づき、各種事業や取り組みを展開しております。県の現状としましては、幼児教育の更なる質の充実と職員の新規採用促進や離職防止、再就職支援等、人材確保支援も視野に入れた体制整備が急がれるところであり、先般の県議会(平成三十年九月定例会・一般質問)において、他県にも事例のある地域における幼児教育のあり方を検討し、家庭や地域、幼稚園・認定こども園・保育所等と小学校の連携を強めて、県としての特性を活かした幼児教育の実現に努めることを目的とした、「宮城県幼児教育支援センター」の設置を提言させて頂きました。

今後行政が担うべき役割について、現場からの声を届けさせて頂きながら、量と質のバランスの取れた環境整備に努めるべく、県議会にお

いても議論を益々加速させて参りたいと存じます。本年は、幼児教育の現場にとつては正に過渡期であり、重要な変革の一年となります。しかし、いつの時代にあつても、子供の教育の原点は家庭にあり、子供の成長と共に、親も子育てを通じて、社会的、人間的にも成長していくことを自らの体験として改めて認識しているところでございます。

今後、皆さまと想いを一つに、大切な社会の宝である子供達に深い愛情が注がれる充実した活動を行って参りますので、ご指導、ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。すべては、宮城県、そして、日本の未来を支える子供達のために。皆さまと共に、頑張つて参りますよう！

第四十三回親善バレーボール大会報告

汗と歓声のひととき



もみじが丘幼稚園(T)
体育部副部長 小山 佳予子

体育部副部長 小山 佳予子

十月二十三日(火)心地よい秋の一日、利府町にある宮城県総合運動場セキスイハイムスポーツアリーナに於いて、宮私幼PTA第四十三回親善バレーボール大会が行われました。今回参加されたチームは五十七チーム。少し肌寒さも感じる早朝、開場を待つ姿にも選手の皆さんのパワーが感じられました。



今回の選手宣誓は、気仙沼より参加の葦の芽幼稚園のバレー部。元気づけの宣誓でした。

PTA連合会会長の挨拶では歴史あるこのバレーボール大会に、佐々木幸士会長のお母様も、かつては選手として参加されていたとお話がありました。もちろん、佐々木会長は幼稚園児として応援していたとのことでした。

試合開始のホイッスル。アリーナに響き渡るボールを打つ音、レシーブをする音、シューズのキョツ、キョツと擦れる音、「それ！」「もう一本行こう！」「声出して！」全ての音が声が、試合をますます盛り上げていました。

試合中のお母さんは、いつもの優しいお母さんの姿が、一変してすっかりプロの選手。こんなに真剣な表情で戦う姿は「格好いい！」の一言です。

幼稚園の子ども達のかわいい応援もあって、ますますパワーが湧いてきたようです。

コートの外では、幼い幼児を抱っこしながら応援しているお父さんの姿がちらほら。当日は、頑張るお母さんのために、お仕事を休みまして協力している陰ながら



の力、しかし、そんな家族の姿は多大なる支えになっていることには間違いありません。

子育ては、お父さん、お母さん、そして社会みんなの力で行う象徴、ママさんバレーならではの光景でした。

ゲームは、一点を争うシーズンゲームだったり、大差で勝利したりと、六コートそれぞれ、大いに盛り上がっていました。

第四十三回宮私幼PTA親善バレーボール大会入賞チーム

コート	優勝	準優勝
A	く	鶴ヶ谷
B	袋原	利府おぞら
C	すがわら	こどもの国
D	多賀城高崎	第二向陽台
E	みやの森	西多賀
F	ふたばハイジ	桜木花園

(参加園57園)

最後になりましたが、今大会へご協力いただきました関係者の方々がにおかれましては、前日のコート設営等の準備を含め大会へ

全日私幼PTA全国大会参加報告



もみじが丘幼稚園(P)
副会長 笠原 由佳

副会長 笠原 由佳

去る平成三十年十二月十日、東京・ホテルニューオータニにおいて行われた、第三十三回全日本私立幼稚園PTA連合会全国大会に参加してまいりました。

「次代を担う子どものために」幼児教育の振興に向けて「をスロガンに掲げて行われたこの大会には、全国から二〇〇人以上の保護者代表が集まり、国会議員の方々も数多く参加されていて、とても活気あふれる会場でした。

第一部の式典では、安部晋三首相が来年度始まる無償化についてや、これから先の幼児教育に対しての意気込みを述べられました。その後、家庭教育の向上と幼児教育の更なる充実のための「宣言」が採択され、閉式しました。

続く第二部では、東京大学・慶応義塾大学教授の鈴木寛さんによる「AI時代の教育」幼児教育の重要性」と題した講演が行われました。これからの時代を生きる子どもたちに必要な、判断力やコミュニケ

の準備や当日の運営に多大なるご協力を頂き、誠にありがとうございました。次の大会の成功をお祈りいたします。

ーション能力を高める教育のあり方や、AIの発達で新たに生まれる職業・AIが担っていくようになる職業についてのお話がありました。幼児期にはまず自分で判断してやってみて、失敗や成功を経験させることが大切だと伺ったほか、今後の高等教育の変化についても紹介があり、大変興味深く考えさせられる時間となりました。



地区活動報告

平成三十年度塩釜地区研修大会

笑つ笑つ笑でストレス発散



桜木花園幼稚園(P)

高畑 美智子

平成三十年十一月六日、多賀城市文化センターでラフターヨガの研修会が開催されました。

講師の大葉先生にラフターヨガの活用方法を講演して頂きました。ラフターヨガとは従来の呼吸法に笑いを取り入れたものです。一日のうち二分間をラフターヨガに費やすだけで日々の生活が変わると教えて頂きました。家族や子どもと「最近会話がないな」「叱つてばかりだな」と思い返した時に実践すると皆がハッピーな気持ちになるという健康法でした。「ヤッターヤッターイエーイ!!」を笑顔で声に出す方法があり、朝に行うとその日一日が穏やかに過ごせるそうです。



昨今、核家族が増えて働く母親も多い中、心に余裕がなくなる子育てになりがちです。しかし、その時間も長く続くことはなく、子どもが成長していくと親を頼ることも減り、自分でできるように変わっていきます。慌ただしく過ぎていった子育てを懐かしく思う時が来るというお話しでした。大葉先生の明るく楽しい人柄はラフターヨガから来ているのだと思いました。

講演の最後にラフターヨガを通して大葉先生からのたくさんのお言葉や心温まる言葉に会場にいたお母様達の中には涙を流される方もいました。子どもは、母親が一番大好きな存在です。だからこそ、その日あつた出来事を話したい、聞いてほしいのです。しかし、忙しいからと後回しになってしまふ。それが少しでも解消するように一日二分間のエクササイズを続けていってほしいという先生の願いが込められた講演会でした。これから先、いろいろなことがあるでしょう。喜怒哀楽を親子で共に分かち合つて成長していくのだと思います。

最後に、本研修会開催にあたり、ご尽力いただきました皆様に感謝申し上げます。

地区活動報告

平成三十年度名取・岩沼・山元地区研修大会

子どもと伝承遊び(独楽回し)



尚綱学院大学附属幼稚園(P)

清水 弥生

平成三十年十一月十九日、名取・岩沼・山元地区PTA研修会が、尚綱学院大学多目的ホールにて行われました。尚綱学院大学・子ども学科教授の安藤正樹先生を講師にお迎えし、「子どもと伝承遊び(独楽回し)」をテーマに講演・研修を受けました。

はじめに「伝承遊びの楽しさを探る」と題し、独楽回しを始めとする伝承遊びの有用性について、途中ユーモアを交えながら楽しくお話ししていただきました。「少子化が進み、異年齢の子ども同士で遊ぶ場が減る中、集団を仕切る役割の「ガキ大将」がいなくなっている。「遊びこむこと」を通して



で身につく力を大切にしたい。友達と勝負する中で味わう悔しさ、努力する力、忍耐力、できた時の達成感、仲間と協力する連帯感など、遊びを通して育まれる力は様々である。昔は、遊びの中で自然と身に付けることができたそれらの経験が乏しい子どもが将来「打たれ弱い大人」へとなってしまうことが危惧されている。今は身近な大人が「ガキ大将」になって遊び方を教え、伝えていく必要がある。」という内容で、親である私達がどのように子ども達へ働きかけていくかを改めて考えさせられました。

独楽回しで「コマ・ニューケイション



お知らせ

平成31年度行事予定

宮私幼PTA総会

期日 6月6日(木)

会場 トークネットホール仙台(仙台市民会館) 小ホール

宮私幼教育振興大会並びにPTA研修大会

期日 7月17日(水)

会場 東京エレクトロホール宮城(宮城県民会館) 大ホール

宮私幼PTA親善バレーボール大会

期日 10月22日(火・祝)

会場 セキスハイムスーパーアリーナ(利府町・グランディ21)

ン」を取りましようとの言葉通り、後半の独楽回しの実技では、初めて会った参加者同士が独楽回しを通して交流しました。独楽へのひもの巻き方、持ち方、投げ方を一から安藤独楽名人から教えていただきました。「言われたとおりには素直にやれば大丈夫。」との名人の言葉通り、初めて独楽回しに取り組んだ参加者も上手に回すことができ、会場のあちらこちらから歓声が起こりました。子どものみならず、大人も夢中になって遊ぶことができる「独楽マジック」にひたることができました。時間となりました。

最後に、研修会開催にご尽力いただきました皆様に感謝申し上げます。

宮城県知事・県議会議長への
要望活動について

六郷幼稚園 (P)

副会長 渡 辺 勝 幸

平成三十一年一月二十二日、宮城県庁を訪問、村井嘉浩宮城県知事に対し、宮私幼の常任理事と共同で要望活動を実施しました。当日の参加者は宮私幼PTAから、佐々木幸士会長・横澤行夫副会長・深谷晃祐副会長・横澤行夫副会長・笠原由佳副会長及び岩山伸次・佐々木拓真の二名の常任委員、小山佳予子監事、それに園児代表として笠原悠斗くん(もみじが丘幼稚園年長児)でした。宮私幼連合会の村山理事長ほか四名の合計十四名が出席し、要望書を提出しました。



要望書の内容は、「平成三十一年度私立幼稚園に対する県補助金増額」「教職員の人材確保のための処遇改善」「私立幼稚園エアコン設備費用の予算確保について国への働きかけの要望」でした。村井知事からは、国の無償化の対策も見ながら前年度より単価を増やしたい、またエアコン設置費用補助について政府に要望したいとの答えをいただき、最後に参加者で記念撮影をしました。知事に先立ち要望者は、県議会の佐藤光樹議長も訪問し、同様の要望書を提出。佐藤議長からは、父の佐藤光輔元県議が宮私幼のPTA会長で、幼稚園奨励金の確保に尽力したこともあり、宮私幼役員の三人の県議会議員とともに県議会として当局へ働きかけていきたいとの答えをいただきました。



会員のひろば

大きな一年間

ふくむろ幼稚園 (P)

佐竹利沙



息子は年少からふくむろ幼稚園に入園しました。仏教幼稚園ということでは

にはない貴重な経験をさせてもらっています。「朝の延命十句観音経のはのさまに唱えているんだよ。ののさまは皆を守ってくれているんだよ。」と息子はお釈迦様について教わったことを私に聞かせてくれます。この三年間で人の話をよく聞くこと、それを伝えることができる子になりました。

園の行事でお釈迦様の誕生を祝う花まつりがあり、今年度は稚児行列も合わせて行われました。現代の日常生活ではなかなか触れることのできない貴重な体験をすることができ、子ども達にと手とても良い思い出になったことでしょう。子どもが様々な体験をする中で、私も父母の会の役員として活動することになりました。私他の役員の方々も初めてのことで不安でしたが、役員同士協力し合い、時には先生方や前役員の方々の助けや励ましの言葉のお陰で二年間務めることができました。協力して下さった皆様には感謝しています。親子共々、幼稚園活動で学んだことを今後の生活に活かしていきたいと思えます。

感謝の気持ち

あさひ幼稚園 (P)

石川美香



三月、息子が卒園を迎えます。私も卒園した同じ幼稚園でお世話になり

ても思い出があります。年少さんでのお遊戯会では緊張からか動くことができず固まっていた息子、それが年中、年長になると踊りや振り付けをしてとても感動したことを覚えてます。

息子が年長になった今年度、役員の活動をする事になり、様々な経験をさせていただきました。初めての役員・会長を務めることになり、今までとは全く違った視点から関わるようになりました。不安と緊張で始まった総会、会長挨拶と今までに経験したこののない大役に不安で押し潰されそうな時、いつも支えてくれた役員仲間たち、応援してくれる家族や先生方、保護者の方々と皆様に助けられながら活動してこられたことに感謝の気持ちでいっぱいです。

最近、急に息子が言うんです。「まだ運動会やりたいな」「どうして?」「だってママがずっと側にいてくれて最高に楽しい運動会だったから!」と言われて、改めて役員をやって良かったと心から思いました。

平成三十年度編集委員

- 副会長 渡辺 勝幸(六郷P)
- 副会長 横澤 行夫(お人形荘T)
- 広報部長 佐々木拓真(三ツノフルT)
- 広報部長 柴田 憲一(ひかりP)
- 広報委員 風間 文静(ひかりT)
- 広報委員 小野寺純一(葦の芽T)
- 広報委員 藤野 達也(葦の芽P)
- 広報委員 小島 孝尋(あさひT)
- 広報委員 石川 美香(あさひP)
- 広報委員 會津 隆司(寝勢トリックT)
- 広報委員 阿部 裕香(矢本はなぎP)
- 広報委員 三浦 慶子(ふくむろT)

あとがき

「宮私幼PTAだより」第九十三号をお届けいたします。ご寄稿いただいた皆様に心より感謝申し上げます。はよりの言い方をすれば「平成最後のPTAだより」となります。平成の時代を振り返ると、子育てという視点では幸福な時代とは言いがたいものでした。次の時代が子ども達にとって幸多きものであることを願って、あとがきといたします。(広報部長)